令和７年４月２４日

令和 6 年度補正予算「UNDP 連携バルバドス国沿岸漁業強靱化プロジェクト」開始式

挨拶を行う宮坂祐介特命全権大使

2025年4月15日、バルバドス漁業複合施設にて、令和6年度補正予算「UNDP 連携バルバドス国沿岸漁業強靱化プロジェクト」開始式が行われ、バルバドス政府関係者、UNDP 関係者及び漁業関係者ら約 30 名が出席しました。

UNDP バルバドス及び東カリブ地域事務所の招待により、宮坂大使はエイドリアン・フォード・環境・国土美化・グリーン/ブルーエコノミー大臣、リミヤ・エルヤタブ・UNDP バルバドス及び東カリブ地域事務所代表らと共に出席し、挨拶を行いました。 宮坂大使は挨拶の中で、日本は長年台風の脅威と向き合い、これまでに多くのインフラや漁船、漁具を失った経験から、精度の高い早期警報システム、厳格な建築基準及び地域に根差した防災計画の策定等を行ってきたが、これらは長年にわたる防災への投資と、備えの文化によって築かれたものであり、本プロジェクトは、こうした我が国の経験から得た教訓に基づくものである旨述べました。

日本政府は補正予算から UNDP へ293万米ドルを拠出し、UNDP を通じてマリーン・トラベル・リフトや製氷機等の資機材の提供に加え、漁業コミュニティの事業継続計画（BCP）の策定などを支援し、2024年月にハリケーン・ベリルによって深刻な影響を受けたブリッジタウン漁業複合施設等の復興に貢献します。